

令和4年度の実証実験の紹介

No.1 デジタル化による区内中小企業の業務改革：株式会社セラピア



ノーコードの力を証明する

世界中を見渡すと優れたノーコード/ローコード技術が存在します。
私たちはこれらの技術の可能性を引き出し、
その価値を正しく広めていくことで、
誰もが開発者として活躍できる社会を実現します。

令和4年度の実証実験の紹介

Refalover[リファラバ]～毎日新聞のファミリービジネス・メディア 3/22掲載

<https://refalover-note.mainichi.jp/n/n5f26f45e54f4>



「現場から始めるDX」。墨田区の若手経営者 タッグが始めた町工場のノーコード・アプリ制作

♡ 10

Refalover[リファラバ]～毎日新聞のファミリービジネス・メディア
2023年3月22日 08:30



「ものづくり」とアプリ作成は同じ

自前アプリの作成に用いたのは、コードを書く専門知識もシステム開発も必要がなく、直感的にアプリを開発できる「ノーコード」と呼ばれるツールだ。

2020年の創業以来、ノーコード・アプリを誰でも作成できるようにする教育プログラムを開発してきたスタートアップ企業、セラビアの田中さんを講師に迎えて始まった連1回2～3時間のプログラム。1カ月の基礎講習を経て自作アプリをつくり始めると、予想もしなかった変化が社員の間に現れた。

働き過ぎを防ぐため、アプリ制作に使った時間に残業代は発生させないと周知していたが、それでも自宅でアプリを自作する社員が続々と出てきたのだ。アプリをつくるのが面白く、早く仕上げたいという気持ちが強まったからだった。

「ものづくりは現場の問題点を発見し、その改善と工夫の繰り返し、アプリ作成も現場の困り事を見つけ、DXによる改善を着想するところから始まり、誰もが使いたくなる使い勝手の良さを工夫していく点で全く同じ。ものづくりの好きな社員はアプリ作成も得意になると確信した」と北澤さんは語る。



企業管理アプリを自作したバキュームモールド工業の安部英人さん

アプリが現場と経営層をつなぐ

同じく製造部の森浩さんが作成したのは、工場内に何十台もある加工機械の点検・メンテナンス状況を見える化するアプリだ。

従来は、機械の近くに備え付けた用紙に点検・メンテナンスの記録を書き込んでいたが、うっかり期日が過ぎてしまうこともあった。自作アプリでは期日が近づくと機械ごとに青いマークが表示され、期日が過ぎると赤いアラートが出て担当者知らず。点検・メンテナンスを実施したら、担当者がアプリ上で記録し、所長も職場全体の状況を把握できる。

もう一つの工夫は、機械ごとに不具合や修理の履歴、修理費用も記録、表示できるようにしたことだ。点検・メンテナンスの重要性を見える化できるに加え、経営層が修理の頻度や費用を見ながら機械の更新について判断しやすくなるデータを蓄積していく。森さんは「このアプリで現場と経営層のそれぞれのニーズを合流させることができた」と胸を張る。

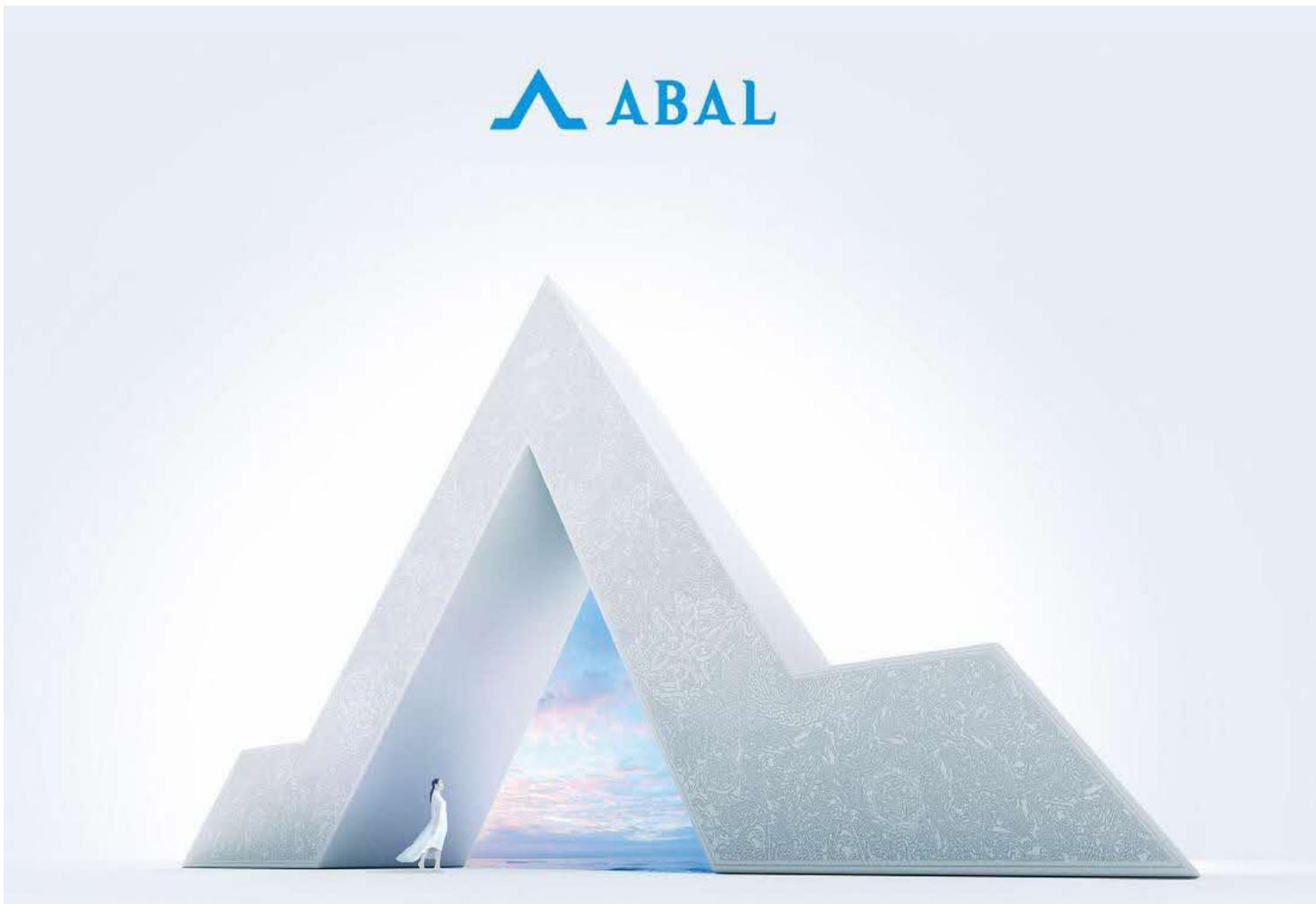
このほかにも、取引先に出す見積りを簡単に計算できるアプリ、文書で行われていた社内承認手続きを電子化するアプリが生まれている。



アプリ開発の中間発表会には各部署の管理職も参加し、社内への浸透を図った

令和4年度の実証実験の紹介

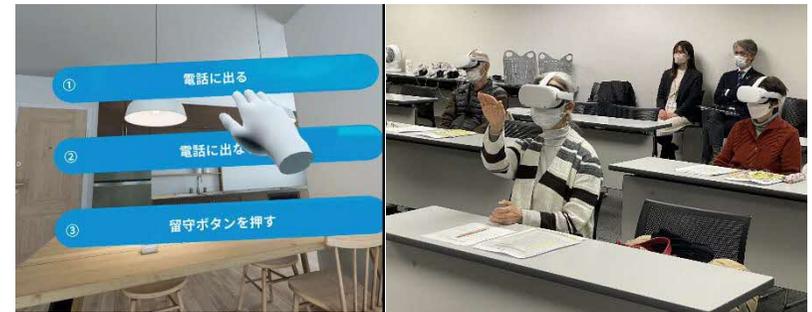
No.2 ヴァーチャル体験による高齢者の特殊詐欺被害防止：株式会社ABAL



令和4年度の実証実験の紹介

No.2 ヴァーチャル体験による高齢者の特殊詐欺被害防止：株式会社ABAL

■ 特殊詐欺を減らすためにXR技術を使った被害回避トレーニングサービス制作に挑戦



令和4年度の実証実験の紹介

NHK首都圏ネットワーク「STOP詐欺被害！」（TV放送／WEB）3/10放送・掲載
<https://www.nhk.or.jp/shutoken/net/20230313s.html>



詐欺のさまざまな手口をお伝えし、被害を未然に防ごうという「STOP詐欺被害！」。
今回は、「VR＝バーチャルリアリティーの技術を使って詐欺の手口を知ってもらおう」という取り組みを紹介します。

2月27日、東京・墨田区に集まった高齢者たち。装着しているのは、VRゴーグルです。



ゴーグルをつけると、目の前には、自宅のリビングにいるような映像。
すると・・・。「もしもしおれだけど・・・」「おれ」だと名乗る人物から電話がかかってきました。
表示された選択肢を選ぶと、そのシナリオに沿ってストーリーが進んでいきます。



開発した民間企業「アバル」壺嶋薬プロデューサー

「オレオレ詐欺の一連の流れを電話をとるところから経験できます。バーチャル上でつくって経験してもらうことで、詐欺の対策につながるのではないか」

令和4年度の実証実験の紹介

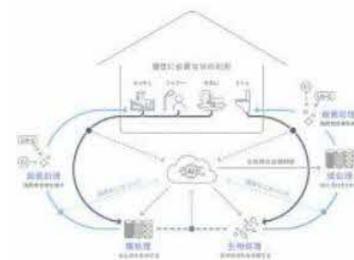
No.3 健康促進サービスの活用による高齢者の健康増進：株式会社Moff

ウェアラブル端末やオンラインを活用した高齢者向けの健康増進サービスにより、身体機能向上、QOLやデジタルデバイド解消等に挑戦



No.4 雨水の活用による資源の再利用の促進：WOTA株式会社

区内大学に実証実験用のトレーラーハウスを設置して社員が住み込み、生活排水の再生技術の検証や雨水の利用拡大等を検証



No.5 探求コンテンツの活用による児童・生徒のSDGsの関心度向上の推進：株式会社うちゅう

各学校で重点を置くテーマ（人権、デザイン思考、キャリア教育など）を題材に探究教育プログラムを実施し、生徒の関心度向上や行動変容を検証

